



TITLE:

露西亞ノ國民經濟ニ於ケル歐洲的要素

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露西亞ノ國民經濟ニ於ケル歐洲的要素. 經濟論叢 1917, 4(3): 445-456

ISSUE DATE:

1917-03-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127173>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號三第 卷四第

行發日一月三年六正大

論說

資本

文學博士

內田銀藏

植民地ノ分類ニ就キテ

法文學士

山本美越乃

支那經濟思想ノ出發點(一)

法文學士

小島祐馬

體質廢頽問題(三)

法學博士

財部靜治

經濟心理學ノ組織的研究(三)

米田庄太郎

時事問題

取引所増資問題

法學博士

戸田海市

米獨斷交ト我經濟界

法學博士

小川郷太郎

毛羊問題

法學博士

神戸正雄

雜錄

經濟雜話(九)

法學博士

田島錦治

米國鐵道從業者八時間勞動問題

法學士

河田嗣郎

露西亞ノ國民經濟ニ於ケル歐洲的要素

法學士

米田庄太郎

維新後ノ戶數ト人口トノ關係

法學士

本庄榮治郎

あーのるどといんびート經濟書

商學士

武藤長藏

佛蘭西財政及經濟學者バトリュー逝ク

法學博士

神戸正雄

新著紹介

露西亞ノ國民經濟ニ於

ケル歐洲の要素

米田庄太郎

(一)

戰後ノ我國ノ經濟の發達ニ於テ、日露貿易ノ發達ハ、重大ナル一因素ヲナスモノト思ハレル。殊ニ北日本ノ發達ハ主トシテ日露貿易ノ發達ニヨリテ支配サレルモノデハアルマイカ。併シ今後果シテ日露貿易ハ大ニ發達スル見込ガアルデアラウカ。此問題ニ答ヘル爲メニハ、吾人ハ我國ノ經濟の狀態ヲ研究スルト同時ニ、大ニ露國ノ經濟狀態ヲモ研究シナケレバナラス。而シテ露國ノ經濟の現狀ヲ理解スルニ就テ、其中ニ活動スル歐洲の要素ヲ研究スルコトハ根本的ニ必要デアル。此問題ニ就テハ近頃若キあるめにあ人經濟學者いしゆしやにあん氏ハ有益ナル著作 (Ischanian, Die ausländischen Elemente in der

Russischen Volkswirtschaft, 1913.) ヲ公ニシテ居ルガ、余ハ又 *Russie Moderne* (2^{me} Edition, 1915) ノ著者トシテ著名ナル露西亞ノ學者あれきしんすきー氏 Alexinsky ガ、昨年 *Scientia* ニ於テ *Les Éléments Européens dans l'Économie Nationale Russie* ト題スル一論文ヲ公ニシテ、右ノ問題ヲ簡明ニ論述サレテ居ルコトヲ見出シタカラ、茲ニ其大要ヲ譯出シテ讀者ノ參考ニ供スルコトスル。

第十九世紀ノ第一ノ四分一期間 (千八百ヨリ千八百二十四年ニ至ル) ニ於テ露西亞ノ輸出入總額ハ平均一億一千二百三十萬留ニシテ、而シテ千八百二十四年ヨリ四十九年ニ至ル間ニハ平均二億二千二百二十萬留、同四十九年ヨリ同七十四年ニ至ル間ニハ平均五億二千五百萬留、同七十四年ヨリ同九十九年ニ至ル間ニハ平均十億九千二百萬留ニ達シタ。ツマリ世界市場ニ於ケル露西亞ノ商業の運動ハ百年間ニ百分ノ九百七十一、即チ十倍ニ増加シタノデアル。此クテ他強國ヨリ露西亞ノ孤立スル程度ハ十倍減少シ、

露西亞ト他國民トノ結合ハ十倍完全ニナリ又強固ニナツタコトニナル。

第二十世紀ノ始メニハ、世界的交易ニ於ケル露西亞ノ重要ハ益々増加ヲ續ケ、最初ノ五年期間ノミデ、其ノ外國貿易ノ總計ハ三分ノ一増加シタ。而シテ千九百五年ニハ十七億二百萬留ニ達シ、千九百十年ニハ二十五億三千三百五十萬留、千九百十二年ニハ二十六億九千萬留ニ達シタ。

此等ノ數字ハ總テノ方面ニ於ケル露西亞ノ國際商業ノ全體ヲ示スモノデアル。併シ其ノ大部分ハ歐洲國境ヲ通過セルモノニシテ、例ヘハ千九百七年ヨリ同十一年ニ至ル五年期間ニ於テ、歐洲國境ヲ通過セル商品ハ毎年平均二十億八千三百七十萬留ニ達シテ居ル。而シテ亞細亞國境ヲ通過スルモノハ二億二百七十萬留ニシテ、ツマリ前者ノ十分ノ一程ニシカ當ラナイノデア

ル。サレバ政治的生活ニ於テハ、露西亞ハマダ眞ニ歐洲化シテ居ラナイガ、併シ其ノ經濟的關係

及ビ志望ニ於テハ、亞細亞ヨリモ歐羅巴ニ結ビ付クコト遙カニ大ナルモノデアアルト云フモ、敢テ誇張ノ言デハアルマイト思フ。

然ラバ露西亞ガ歐洲ヨリ輸入スル商品ハ如何ナルモノデアルカ。

食料品ハ歐洲輸入品中最少部分ヲ占ムルモノナルハ、露西亞ガ農業國デアアルコトヲ考ヘルトキハ、別ニ怪ムニ足ラス。其ノ千九百二年ノ輸入額ハ八千二百二十萬留ニシテ、千九百十二年ノ輸入額ハ一億四千三十萬留デアアル。ツマリ此ノ十年間ニ百分ノ七十増加シタ割合デアアル。而シテ製造品(工業的生産物)ノ輸入額ハ千九百二年ニハ一億五千三十萬留ニシテ、千九百十二年ニハ三億七千五百七十萬留ニ達シ、百分ノ百五十増加シテ居ル。併シ輸入品中大ナル割合ヲ占ムルモノハ半製品及ビ工業原料デアアル。其ノ千九百二年ノ輸入額ハ二億九千五百萬留ニシテ、其ノ千九百十二年ノ輸入額ハ五億千八百萬留デアアル。十年間ニ百分ノ七十五増加シタ割合デア

右ノ數字ハ千九百十四年ノ豫算ニ關スル大藏省ノ報告ヨリ借リタルモノデアルカ、吾人ハ之レニヨリテ見レバ、露歐貿易關係ノ一切ノ利益ハ歐洲ニ收メラレ、而シテ露西亞ハ只ノ利益ノミヲ受クルモノデアルト云フ意見ハ、其儘デハ穩當デナイト思フ。歐洲輸入品中露西亞ノ經濟ニ於テ眞ニ重大ナル地位ヲ占メ、且ツ露西亞ガ全ク歐洲ニ從屬スル狀態ヲ示ス唯一ノ品類ハ器械デアル。器械ノ輸入額ハ千九百十二年ニハ五百萬留デアツタノニ對シテ、千九百十二年ニハ一億四千六百萬留ニ増加シテ居ル。併シ器械ノ需要ノ此ノ急速ナル増加ハ、正シク露西亞ノ國民の工業ガ大ニ發達セルコト、及ビ其ノ技術的裝置ノ迅速ニ完成シツツアルコトヲ證明スルモノデアル。

(二)

今日露西亞ガ經濟上歐洲ヨリ受クル直接の影響ハ、商品ノ輸入ニ於テ現ハレテ居ルバカリデナク、更ニ他ノ二種ノ形態、即チ人間ノ輸入及ビ資本ノ輸入ニ於テ現ハレテ居ル。

露西亞ニ於ケル外國來住者ノ性質及ビ數ヲ學ブニハ、千八百九十七年ノ帝國人口調査ノ結果ニ依賴スルヨリ外ニ途ハナイ。而シテ此ノ人口調査ノ結果ニ就テ見ルニ、當時露西亞ニ在住セル外國人ハ六十萬五千五百人ニシテ、總人口ノ千分ノ五ニ當ツテ居ル。併シ露西亞ニ於ケル外國人ノ現在ノ割合ハ夫ヨリモ尙ホ少ナイト考ヘル人々ガアル。千九百十二年ニDie Ausländischen Elemente in der Russischen Volkswirtschaftト題スル重要ナル著作ヲ公ニセル若キあるめに、人經濟學者 Ischekanian 氏ハ、歐洲諸國ニ於ケル外國人ノ割合ニ就テ、左ノ如キ表ヲ調製シテ右ノ著作ノ中ニ掲ゲテ居ル。

人口千人ニ就テ外國人ノ割合

瑞 西	七、	奧 國	五、
佛 蘭 西	三、	蘇 格蘭	四、
白 耳 義	三、	すかんぢなぐいあ諸國	三、
和 蘭	二、	及ビ愛蘭土	三、
獨 逸	九、	伊 太 利	二、
英 國	八、	露 西 亞	二、

今最モ多ク外國人ヲ牽引セル露西亞ノ諸地方ニ於テモ其ノ割合ハ多クナイ。こゝかさす地方

ニ於テハ總人口ノ百分ノ一、六九ニシテ、波蘭地方ニ於テハ百分ノ一、一五、さいべりあニ於テハ百分ノ一、〇八、中央露西亞ニ於テハ百分ノ〇、二七等デアル。而シテ其等ノ外國人ヲ國別ニスレバ左表ノ如クデアル。

獨逸人	136,000	佛蘭西人	91,000
奧國	111,000	ポーカレす人	6,000
土耳古人	111,000	英國人	7,000
波斯人	22,000	瑞西人	2,000
支那人	24,000	伊太利人	2,000
朝鮮人	11,000	羅曼尼人	2,000
希臘人	11,000	其他	16,000

今露西亞ニ於ケル其等ノ外國人ニ就テ、彼等ノ經濟的活動上、歐洲人ト亞細亞人トノ間ニ重大ナル差異アルハ注意ス可キ點デアル。いしゆしやにあん氏ノ論ズル處ニヨレバ、「西歐諸國ヨリ露西亞ニ來住セル外國人ハ、都市的職業、殊ニ工業、商業、及ビ運輸業ニ於テ、企業家、指揮經營スル人々、高等ナル技術員及ビ事務員、専門的ナル技術者等ノ部類、少クモ熟練労働者ノ部類ニ屬シ、之ニ反シテ亞細亞ヨリ來住セル外國人ハ、一般ニ彼等ノ從事スル職業ニ於テ中

等層及ビ下層ヲナス、即チ小賣業者、地方代理業者、工場及ヒ鑛山労働者、不熟練労働者等ニ屬ス。而シテ今此等ノ職業部類ニ於ケル中間的機關ヲ看過シ、只生産ニ於テ相反スル二因素、即チ労働ヲ呈供スルモノト、之ヲ使用スルモノトニ就テ考察スルトキハ、吾人ハ西歐ヨリ來住セル外國人ハ資本家階級ヲ代表スルモノニシテ亞細亞的外國人ハ労働者階級ヲ代表スルモノデアルト云フコトガ出來ル」。要スルニ吾人ハ、今日ノ露西亞ハ地理的ニモ亦經濟的ニモ歐羅巴ト亞細亞トノ中間ニ立ツモノト云フコトガ出來ル。露西亞ハ亞細亞人ヨリハ最早只手ノ労働ダケヲ要求シ、而シテ政羅巴人ニ對シテハ、彼等ノ資本ト知力トヲ活用スル好舞臺ヲ呈供シテ居ルノデアル。

尙ホ千八百九十七年ノ人口調査ニ於テ見ル處ノ六十萬五千人ノ外國人中其ノ四割一分ハ都市ニ居住シ、五割九分ハ田舎ニ居住シテ居ツタ。然ルニ同年ニ於テ露西亞本國人ノ都市ニ居住スルモノハ總人口ノ二割五分デアツタカラ、露西

亞ニ於ケル外國人ハ本國人ヨリモ遙カニ大ナル割合ニ於テ都市ニ居住スルコトヲ知ルノデア
ル。此點ニ就テ更ニ興味アルハ、來住者全體ノ

三割ハベシとらざらざ、もすこゝ、おでつさ、及ビ
ケあるそぐいノ四大都市ニ集中シテ居ルコトデ
アル。サレド露西亞ニ於ケル其等ノ外國民ハ總
テ都市生活ヲ好ム同等ナル傾向ヲ有ツテ居ル
云フノデハナイ。獨逸人ちねつく人及ビぶるが
りあ人ハ都市外ニ定住スル傾向ヲ現ハシ、ちえ
つく人ノ七割七分、獨逸人ノ五割八分及ビぶる
がりあ人ノ五割七分ハ田舎ニ居住シテ居ル。露
西亞ノ中部及ビザルガ河ノ沿岸地方ニハ彼等
ノ多數ノ植民地ガ散在シテ居ル。併シ彼等ト異
リテ、佛蘭西人ノ四分ノ三以上、即チ八割二分
ハ都市ニ居住シ、又白耳義人ノ六割、伊太利人
ノ七割八分モヤハリ都市ニ居住シテ居ル。

大體上カラ見ルト、露西亞ニ於テハ、工業及
ビ商業ニ從事スルモノノ比較的割合ハ本國人ヨ
リハ外國人ニ於テ遙カニ多イノデ、千八百九十
七年ノ調査ニ於テ、本國人ノ工業ニ從事スルモ

ノハ只總人口ノ一割二分、商業ニ從事スルモノ
ハ五分五厘ダケデアル。而シテ農業ニ從事スル
モノハ七割ニ當ルノデアル。

尙ホ附言シテ置キタイ事ハ、工業ニ勤ク爲メ
ニ露西亞ニ來住スル獨逸人ニ於テハ、同ジ目的
ヲ以テ來住スル佛國人及ビ英國人ニ於テヨリ
モ、勞働者ノ割合ガ多イコトデアル。是レハ獨
逸ガ地理的ニ露國ニ接近シテ居ルガ爲メ、又獨
逸ヨリハ一般ニ植民地ヲ作ツテ永住スル考ヘヲ
有スルモノガ、比較的ニ多ク來住スルガ爲メデ
アラウト思フ。之ニ反シテ佛國及ビ英國ヨリノ
來住者ノ大ナル部分ヲ占ムルモノハ企業家、技
師等デアル。

(三)

サレド歐羅巴ガ露西亞ニ最モ強大ナル影響ヲ
及ボシテ居ルノハ、資本ノ輸入ニ依ツテデアル。
蓋シ露西亞ニ於ケル經濟上社會上ノ舊狀態ガ、
最モ深大ナル擾亂ヲ受ケタノハ、外國ノ資本及
ビ資本主義的企業ノ新形態ガ輸入サレタガ爲メ
デアル。而シテ今歐洲ノ資本ハ三ツノ異ナレル

途ヲ通シテ露西亞ニ侵入シテ居ル。一ハ歐羅巴人ガ箇人的ニ、又ハ會社ヲ組織シテ、露國ニ工業的企業ヲ起セルコト、二ハ露國人ガ箇人的ニ、又ハ會社ヲ組織シテ起セル企業ニ歐洲資本ノ參加セルコト、三ハ露國ノ地方團體及ヒ中央政府ガ歐洲ノ金融市場ニ於テ公債ヲ募集セルコトデアル。但シ都市ノ起セル公債ハ、其大部分ニ於テ、市街鐵道、水道等ノ都市ノ技術的事業ニ使用セラレ、而シテ中央政府ノ起セル公債ハ、只其一部分ニ於テ、私人ノ工業ヲ利益セルノミニテ、大部分ハ行政費ヲ支辨スル爲メニ使用サレテ居ル。

今露國ノ工業及ビ外債ニ投ゼラルテ居ル歐洲資本ノ總額ヲ計算スルコトハ、甚ダ困難デアルガ、いしゆしゃにあん氏ハ第二十世紀ノ始メニ於テ、總計七十一億四千五百萬留ニ達シテ居ルト推算シテ居ル。但シ同氏ハ其中デ四十四億留ハ佛國ヨリ來リ、十九億二千萬留ハ獨逸ヨリ、三億七千二百萬留ハ英國ヨリ、二億五千三百萬留ハ白耳義ヨリ、而シテ二億留ハ歐洲ノ他ノ諸

國ヨリ來レルモノト見ルノデアル。併シ同氏ノ計算ハ甚ダ不精確ニシテ、實際露國ニ投セラレテ居ル歐洲資本總額ハ遙カニ夫レ以上ニ達スルデアラウト思ハレル。例ヘハ千九百十二年佛國ノ雜誌「これすばんだんと」ニ掲載サレテ居ル處ニヨレバ、同國ダケデモ露國ノ有價證券百七十億法郎チ七十億留程ヲ所有シテ居ルコトヲ見ルノデアル。又ねーまー氏ハ千九百七年ニ英國ハ四十五億留ヲ露西亞ニ投ジテ居ルト計算シテ居ル。尙ホ露國ガ佛國ニ負フ處ノ右ノ百七十億法ノ中デ、政府ノ外債ハ百六億一千萬法、内債ハ十三億四千萬法、地方債ハ四億法、而シテ工業的企業資金ハ四十七億五千萬法ヲ占ムル割合トナツテ居ルノデアル。此問題ニ就テ露西亞ノ經濟學者じぬ、えのたえうすきー氏ハ左ノ如ク論ジテ居ルガ、當ヲ得テ居ルト思フ。「露國ノ外國ニ對スル經濟的從屬ハ、主トシテ政府ノ公債ニ依ツテ現ハレテ居ル。而シテ之レニ比スレバ露國ノ工業及ビ商業ノ負債額ハ些細ノ事デアルガ如クニ見ユル」。

今同氏ノ比較ヲ正當ト認ムルモ、吾人ハ尙ホ露國ノ工業ニ於テ歐洲資本ノ演ズル絶對的役目ノ甚タ重大ナルヲ忘レテハナラヌ。更ニ重要ナルコトハ此役目ガ近來迅速ニ増大シツアルコトデアル。千八百九十年以前ニ於テハ外國ノ資本ニヨリテ經營セラルル株式會社ノ數ハ只十六アツタゲデアル。然ルニ千八百九十一年ヨリ千九百年ニ至ルマデニハ二百十五設立セラレ、千九百年ヨリ千九百十年ニ至ルマデニハ更ニ百六十、而シテ千九百十一年カラ同十二年マデニ八十二設立サレタ。而シテ此ノ最後ノ期間ニ於テ露國ノ資本ヲ以テ設立サレタ會社ノ數ハ七百七十四デアル。(譯者曰云フ此ノ數字ハ間違フテ居ルト思フカ、手元ニ露國ノ工業統計ハナイカラ、訂正セズニ其儘ニ譯シテ置イタ)サレバ右三年間ニ生レタル新企業ノ五分ノ一ハ外國人ノ仕事デアル。更ニ實際ニ於テ、外國人ノ會社ガ露國ノ工業ノ發達ニ貢獻スル處ハ、會社數ノ統計ニヨリテ見ルヨリモ一層大ナルモノデアル。是レ外國人設立ノ會社ノ株式資本ノ平均額ハ內國人設立ノ會社ノ夫レヨリモ一層大ナルヲ見テ察セラレルノデアル。

サレド露國ノ工業ニ於ケル外國資本ノ役目ヲ正當ニ評價スル爲メニハ、之ヲ政府ノ外債ト比較シテハ行ケナイ、寧ロ之ヲ國民の收益及ビ國民の資本ト比較セネバナラヌ。其一例ヲ示サバ、一ケ年一千留以上ノ收益ヲ有スルモノノミニ就テ、千九百十年ニ於ケル露國ノ工業の及ヒ商業的企業ノ總收益ヲ計算スルト、八億五千六百萬留トナル。而シテ千九百十一年ニ對シテ設立ヲ許可サレタル株式會社ニ投ゼラレタル外國資本ノ總額ハ八千萬留デアル。今露國ノ資本家ハ其ノ收益ノ五割ヲ新企業ヲ起ス爲メニ使用スルコトガ出來ルトスレバ、彼等ハ四億留以上、即チ同年ニ於テ外國資本家ノ投ジタルヨリハ五倍以上投ズルコトガ出來ル割合ニナルノデアル。

(四)

上ニ舉ゲタル數字ニヨリテ、吾人ハ今日歐洲ガ露國ニ於テ重大ナル經濟的影響ヲ及ボシテ居ルコトヲ見ルノデアル。併シ露國ハ經濟上全ク歐洲ニ從屬シテ居ルト考ヘルハ精確デナイ。經濟上露國ハ今ヤ孤立ノ狀態ヲ去ツタ、併シ其ノ

自律性ヲ失フタノデハナイ。

サレド又吾人ハ露國ノ國民經濟ニ於ケル歐洲諸國ノ參加ニハ、或特色ノアルコトヲ看過シテハナラヌ。先ヅ第一ニ注意ス可キハ、露國ニ於ケル外國人ノ工業的企業ハ露國人ノ夫レヨリ強大ナルコトデアル。例ヘハ千九百十一年ヨリ同十三年マデニ露國ニ於テ設立サレタル歐洲人ノ株式會社ノ資本ハ、每會社平均額百七十三萬六千留デアルガ、同期間ニ本國人ノ設立セル會社ニ於テハ、每會社平均額百二十二萬二千留デアル。吾人ハ之レニヨリテ、本國人ノ會社ガ外國人ノ會社ニ對スル競爭ニ於テ、困難ナル地位ニアルコトヲ直チニ推察シ得ルノデアル。

國民的資本ノ現狀態ハ、外國資本ガ露國ノ諸工業間ニ種々ニ配分サレテ居ルコトニヨリテ尙ホ混雜シテ居ル。先ヅ最モ重大ナル工業、即チ冶金業、炭鑛業、紡織業等ハ大部分ニ於テ外國資本ノ勢力ニ支配サレテ居ル。例ヘハ南部露西亞ノ炭坑地方ニ於テ、第二十世紀ノ始メニ、同地方ノ石炭產額ノ七割五分ハ十五大會社ノ生産

スル處ノモノデアルガ、其等ノ會社ノ三分ノ二ハ歐洲人ノ手ニ屬シ、而シテ石炭產額ノ六割二分ハ彼等ノ生産スル處ノモノデアル。又波蘭ノどむぶろグヂニ於テハ、十三大會社ノ中ノ六ツハ外國人ノ手ニ屬シ、而シテ其等ノ六大會社ノ生産スル分量ハ、同地ノ總產額ノ八割六分ヲ占メテ居ル。鐵鑛業ニ於テモ、吾人ハ大體上同様ナル狀態ヲ見ルノデアル。紡織業ハ外國資本ノ最モ早ク占有セル工業ノ一デアルガ、近來ハもすこし地方ニ於テ見ルガ如ク、十分ニ露西亞化サレタルモノモ發達シテ來タ。併シ多クノ地方ニ於テハ尙ホ殆ンド全ク外國資本ニヨリテ支配サレテ居ル。而シテ以上述べシ事實ハ、歐洲ノ資本ガ今日モ尙ホ露國ノ主要工業ニ於テ如何ニ大ナル勢力ヲ振フテ居ルカヲ明ラカニ示シテ居ルノデアル。吾人ハ更ニ露國ノ工業ヲ養ナフ外國資本ハ、何レノ國民ニヨリテ授セラレテ居ルカヲ調ラベテ見ルト、甚ダ興味アル現象ヲ發見スルノデアル。

冶金業ニ於テハ英國、白耳義及ビ佛國ノ資本

ガ大ニ勢力ヲ振フテ居ル。どねつ地方ニ於テ鑛山業ヲ開始シタルハ、露國デ有名ナル英國人ひゆうすニシテ、彼ハ同地方ニ於テ石炭業ヲモ亦開始シタルノデアル。而シテ彼ニ次デ佛國ノ資本家モ同地方ニ企業ヲ起シ、更ニ白耳義ノ會社ガ設立セラレ、夫ヨリ諸國ノ企業家ガ續々同地方ニ侵入シテ來タ、其中ニハ米國ノ企業家モアル。併シ南部露西亞ニ於ケル外國資本ハ主ニ英國人殊ニ佛國人及ビ白耳義人ニヨリテ投ゼラレテ居ルノデアル。又こゝかす地方ニ於ケル石油業ハ端甸及ビ英國ノ資本ニヨリテ經營サレテ居ル。而シテ獨逸ノ資本ハ波蘭ニ於ケル鑛山業及ビ冶金業ニ投ゼラレテ居ル。併シ獨逸ノ資本ガ殊ニ牽引サレタルハ紡織工業デアル。之ヲ露國ニ始メテ移入シタルハ英國人、和蘭人、及ビ佛國人デアルガ、併シ其ノ發達ニ最モ強キ刺激ヲ與ヘタルハ獨逸人くぬーブデアル。サレド上ニ述ベシ如ク中部露西亞ニ於テハ、今日ハ紡織業ハ主トシテ露國ノ資本ニヨリテ經營サレテ來テ居ルノデアル。

(五)

余輩ハ是レヨリ更ニ重大ナル一問題ヲ論究ンヤウト思フ。夫レハ外國の各要素ガ露國ノ國民經濟ニ於テ有スル勢力及ビ重要ノ相對的割合デアル。今工業的企業ノ方面ニ於テハ英國人及ビ佛國人ハ第一位ヲ占メテ居ル。併シ露歐經濟關係ノ全體ニ於テハソウデナイ。先ヅ公債ノ方面ニ於テハ佛國ハ例外的地位ヲ占メテ居ル。開戦前ニ於テ、既ニ佛國民ハ露國政府ノ外債ニ百七億一千七百萬法、及ビ同内債ニ十三億四千四百萬法ヲ投ジ、更ニ地方債ニ三億一千萬法ヲ投ジテ居ルノデアル。併シ商業ノ方面ニ於テハ、露佛ノ關係ハ遙カニ露獨ノ關係ニ劣ツテ居ル。千九百一年ヨリ同五年ニ至ル間ニ、獨逸ヨリノ輸入額ハ總輸入額ノ百分ノ三五、〇ヲ占メテ居ルニ對シテ、佛國ヨリノ輸入額ハ僅カニ百分ノ四、三ニ當ルダケデアル。而シテ千九百十二年ニ於テハ、獨逸ヨリノ輸入額ハ百分ノ五二、七ニ増加シテ居ルガ、佛國ヨリノ夫レハヤハリ僅カニ百分ノ四、六ニ當ルダケデアル。露國ニ於ケル

獨逸ノ商業的優勢ハ實ニ驚ク可キモノデアル。英國ノ露國市場ニ於ケル地位ハ、他ノ歐洲諸國ニ比シテ大ニ勝レテ居ルガ、併シ獨逸ニハ劣ツテ居ル。千九百八年ニ於ケル英國ヨリノ輸入額ハ一億一千九百九十萬留ニシテ、千九百十三年ニ於ケル夫レハ一億七千三十萬留デアル。サレバ此ノ五年期間ニ於テ英國ヨリノ輸入額ハ僅カニ五千萬留増加シタダケデアルガ、獨逸ヨリノ輸入額ハ同期間ニ於テ三億一千百萬留増加シテ居ツテ、百分比例ニテ表ハセバ、英國ヨリノ輸入額ハ百分ノ四一、〇増加シタダケデアルニ對シテ、獨逸ヨリノ輸入額ハ百分ノ百九三、〇増加セル事ニナツテ居ルノデアル。故ニ少クモ露國ニ就テ見ルトキハ、英國ノ競争ニヨリテ損害ヲ蒙ツテ居ルト云フ獨逸ノ泣言ハ、全ク根據ノナイコトデアル。實ニ開戦前ニ露國ニ於ケル英國商人ヲ始メ、總テノ國ノ競争者ヲ漸次ニ壓倒シテ、露國ノ市場ヲ獨占センバカリノ勢ヲ示シテ居ツタノハ、獨逸デアツタノデアル。

(六)

然ラバ露國ニ於テ獨逸ガ此ノ如ク商業上優勢ヲ振フニ至レル原因ハ何ンデアルカ。先ヅ第一ニ獨逸ガ地理的ニ露國ニ接近シテ居ルト云フ事實ガ注目セラレル。此事實ハ先ヅ多數ノ獨逸人ヲシテ露國ニ移住セシメテ居ル。サキニ示セシ如ク千八百九十七年ノ人口調査ニヨレハ、同年ニ露國ニ居住セル佛國人ハ九千四百二十一人ニシテ英國人ハ七千四百八十一人ナルニ對シテ、獨逸人ハ十五萬八千三百二人デアツタ。更ニ露國ニハ其等ノ獨逸人ノ外ニ露國ノ臣民トナツテ居ル多數ノ獨逸人ガアル。而シテ右ノ千八百九十七年ノ調査ニヨレバ、獨逸語ヲ母語トスル露國ノ臣民ハ百七十九萬五百人アルコトニナツテ居ルガ、實際ハ夫レヨリモ多ク、少クモ二百萬人ハアラウト思フ。次ニ地理的接近ハ又露領波蘭ノ獨逸化ヲ容易ナラシメタ。終リニ地理的接近ハ商業的交換ヲ容易ナラシメタノデアル。第十九世紀ノ始メニ於テハ露國ノ外國貿易ハ主トシテ海ニヨリテ行ハレタノデアルガ、其ノ後、陸上貿易ガ段々發達シ、第二十世紀ノ始メニ於

テハ、輸出額ノ三分ノ一、及び輸入額ノ過半ハ陸上國境、殊ニ獨逸國境ヲ通過スルコトナツテ居ル。獨逸ハ又露國ノ海上貿易ニ於テモ重大ナル地位ヲ占メテ居ル。是レばるちつく海ニ於ケル獨逸ノ港ト露國ノ港トガ相接近シテ居ルカラデアアル。

露國ノ關稅ハ總テノ國ニ對シテ同等或ハ殆ンド同等ニシテ、而シテ甚タ高率デアアル。其ハ商品價格ノ殆ンド三分ノ一ニ達スル。而モ獨逸ノ工業ハ露國ノ市場ヲ侵掠シ、一切ノ競爭者ヲ容易ク壓倒シタノデアアル。而シテ其原因ハ單ニ地理的條件ノ有利ナルコトノミニアルトハ思ハレナイ。更ニ千九百四年ニ締結サレタ露獨通商條約ノ有利ナル條件ヲ加ヘテ見テモ、尙ホ露國ニ於ケル獨逸ノ商業的勝利ノ原因ヲ闡明スルニ充分デナイ。然ラハ其ノ根本的原因トナツテ居ルモノハ何ンデアアルカト云フニ、是レ即チ獨逸ノ工業者聯合ノ採用セル特別ナル制度、即チ輸出獎勵制度デアアル。此ノ制度ニヨリテ獨逸ノ工業者ハ露國ノ關稅ニ對抗スルコトガ出來ルノミ

ナラズ、更ニ本國ニ於テヨリハ露國ニ於テ一層廉價ニテ其製品ヲ販賣スルコトガ出來ルノデアアル。獨逸ノ工業者ハ此制度ヲ露國ニ對スル輸出貿易ニ於テ巧ミニ運用シ、而シテ露國ガ英佛ノ如ク經濟的ニマダヨク發達シテ居ラナイノニ乗ジテ、容易ク勢力ヲ振フコトガ出來タノデアアル。要スルニ獨逸ハ輸出獎勵金制度及ビ其他種々ナル手段方法ニヨリテ露國ノ市場ヲ迅速ニ征服シ、而シテ總テノ競爭者ヲ壓倒シタノデアアル。

千九百二年ニ露國ノ大藏大臣ガ公ニセル一報告中ニ、獨逸ノ工業者聯合ノ活動ニ就テ左ノ如ク述ベテアル。「本國ノ市場ニ於テヨリモ廉價ニテ商品ヲ輸出スル政策ハ、其ノ相手方トナル諸國ニ對シテ非常ニ有害デアアル。蓋シ是レガ爲メニ其等ノ諸國ノ國內工業ガ破滅サレルカラデアアル。而シテ今日其害ヲ防ク手段トシテハ唯一ツアルバカリデアアル。夫レハ關稅ヲ高メテ國內工業ヲ保護スルコトデアアル。露國ノ政府モ早晩此手段ニ訴ヘネバナラヌト思フガ、而モ此ノ手段モ亦國內工業ニ對スル一定ノ不利益ト危險ヲ伴

ナフ。蓋シ此ノ手段ヲ有效ニ運用スルニハ、屢々關稅率ヲ變更シ、且ツ極端ナ保護主義ヲ實行シナケレバナラナクナルカラデアル。……更ニ只一ヶ國或ハ二三ヶ國ノ輸出工業者聯合ガ該政策ヲ行ナフガ爲メ、之ニ對シテ其ノ對象トナル國ガ已ヲ得ズ右ノ手段ヲ用ユルコトハ、他ノ總テノ外國ニ影響ヲ及ボスコトニナル。是レ今日ハ總テノ文明國ハ通商條約ニヨリテ結び付テ居ルカラデアル。サレバ獨逸輸出業者聯合ノ策略ハ畜ニ露國ノ工業ヲ害スルノミナラズ、又他國ノ工業ヲモ害スルコトニナル。更ニ其等ノ策略ハ獨逸ノ人民其物ノ利益ヲモ害スルコトニナル。蓋シ彼等ハ自國ノ製品ヲ外國人ニ安ク買ハセル爲メニ、自分等ハ之ニ對シテ殊更ニ高キ代價ヲ拂ハネバナライカラデアル。

露獨ノ經濟的關係ノ現狀ニ就テ、更ニ注目スヘキ重大ナル問題ガアル。夫レハ獨逸ガ露國ヲ自分ノ植民地ノ如キ狀態ニ導カントスル傾向ノ歷々トシテ現ハレテ居ルコトデアル。露國ハ獨逸ヨリ殊ニ製造品ヲ輸入シ、而シテ原料品ヲ之

レニ輸出スルト云フコト、換言スレバ獨逸ハ露國ヨリ廉價ニテ原料品ヲ購入シ、而シテ之レニ加工シテ高價ニテ露國ニ輸出スルト云フコトハ、是レツマリ露國ヲ經濟上獨逸ノ植民地トナスモノデハナイカ。併シ露獨ノ經濟的關係ヲ此ノ如キ狀態ニ導カントスル獨逸ノ政策ハ、露國ノ眞實ナル經濟的歐洲化ノ發達ヲ根本的ニ障害スルモノデアル。是レ、露國ノ經濟的歐洲化ガ眞實ニ發達スル爲メニハ、國內ニ於テ一切ノ歐洲的因素ガ自由ニ協働シ、又國內ノ資本主義的勢力ガ自由ニ發達シテ、漸次ニ歐洲の形態ヲトルニ至ルコトガ必要條件デアルカラデアル。(完)